

手 続 補 正 書

(法第 1 1 条の規定による補正)

特許庁審査官 殿

1. 国際出願の表示 P C T / J P 0 3 / 0 8 4 3 6

2. 出 願 人

名 称 ダイハツ工業株式会社
DAIHATSU MOTOR CO., LTD.

あ て 名 〒563-8651 日本国大阪府池田市ダイハツ町 1 番 1 号
1-1, Daihatsucho, Ikeda-shi, Osaka 563-8651 Japan

国 籍 日本国 Japan

住 所 日本国 Japan

3. 代 理 人

氏 名 (1 0 3 5 1) 弁理士 岡本 寛之

OKAMOTO Hiroyuki



あ て 名 〒541-0048 日本国大阪府大阪市中心区瓦町 4 丁目 8 番
5 号 瓦町NKビル

Kawaramachi NK Building, 8-5 Kawaramachi
4-chome, Chuo-ku Osaka-shi, Osaka 541-0048 Japan

4. 補正の対象

明細書および請求の範囲

5. 補正の内容

「明細書」および「請求の範囲」を別紙差し替え用紙のとおり、補正する。

補正事項は以下のとおり。

(1) 明細書第3頁第5行に、「また、本発明の触媒組成物は、一般式(1)



(式中、Aは、3価以外に価数変動しない希土類元素を必ず含み、かつ、Ceおよび／またはPrを任意的に含む希土類元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、Bは、Co、Rh、希土類元素以外の遷移元素およびAlから選ばれる少なくとも1種の元素を示す。)

で表されるペロブスカイト型構造の複合酸化物を含むことを特徴としている。」と追加補正する。

(2) 請求の範囲第25頁第27行に、「6. 一般式(1)



(式中、Aは、3価以外に価数変動しない希土類元素を必ず含み、かつ、Ceおよび／またはPrを任意的に含む希土類元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、Bは、Co、Rh、希土類元素以外の遷移元素およびAlから選ばれる少なくとも1種の元素を示す。)

で表されるペロブスカイト型構造の複合酸化物を含むことを特徴とする、触媒組成物。」と追加補正する。

6. 添付書類の目録

(1) 明細書(第3頁および第3／1頁)の差し替え用紙

(2) 請求の範囲(第25頁および第25／1頁)の差し替え用紙

ともいづれかを必ず含み、かつ、M nを任意的に含んでおり、xが0であることが好ましい。

また、本発明の排ガス浄化用触媒は、さらに、P tが担持されていることが好ましい。

5 また、本発明の触媒組成物は、一般式(1)



(式中、Aは、3価以外に価数変動しない希土類元素を必ず含み、かつ、C eおよび／またはP rを任意的に含む希土類元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、Bは、C o、R h、希土類元素以外の遷移元素およびA lから選ばれる少なくとも1種の元素を示す。)

10 で表されるペロブスカイト型構造の複合酸化物を含むことを特徴としている。

発明を実施するための最良の形態

15 本発明の排ガス浄化用触媒は、一般式(1)



(式中、Aは、3価以外に価数変動しない希土類元素を必ず含み、かつ、C eおよび／またはP rを任意的に含む希土類元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、Bは、C o、R h、希土類元素以外の遷移元素およびA lから選ばれる少なくとも1種の元素を示す。)

20 で表されるペロブスカイト型構造の複合酸化物を含んでいる。

すなわち、この複合酸化物は、ペロブスカイト型構造であって、Aサイトには、希土類元素が配置されるが、3価以外に価数変動しない希土類元素が必ず配置されており、かつ、それ以外には、C eおよび／またはP rが任意的に配置されている。また、Bサイトには、C o、R h、希土類元素以外の遷移元素および／またはA lが配置されている。

Aサイトに配置される3価以外に価数変動しない希土類元素は、常時、3

価をとる希土類元素であって、例えば、S c（スカンジウム）、Y（イットリウム）、L a（ランタン）、N d（ネオジム）、P m（プロメチウム）、G d（ガドリニウム）、D y（ジスプロシウム）、H o（ホルミウム）、E r（エルビウム）、L u（ルテチウム）などが挙げられる。

- 5 すなわち、これらは、C e（セリウム）、P r（プラセオジム）、T b（テルビウム）などの3価または4価に価数変動する希土類元素や、S m（サマリウム）、E u（ユーロピウム）、T m（ツリウム）、Y b（イッテルビウム）などの2価または3価に価数変動する希土類元素を除く、希土類元素

請 求 の 範 囲

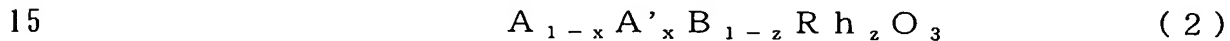
1. 一般式 (1)



- 5 (式中、Aは、3価以外に価数変動しない希土類元素を必ず含み、かつ、Ceおよび／またはPrを任意的に含む希土類元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、Bは、Co、Rh、希土類元素以外の遷移元素およびAlから選ばれる少なくとも1種の元素を示す。)
- 10) で表されるペロブスカイト型構造の複合酸化物を含むことを特徴とする、排ガス浄化用触媒。

2. 一般式 (1) において、Aが、3価以外に価数変動しない希土類元素のみから選ばれる少なくとも1種の元素を示すことを特徴とする、請求の範囲第1項記載の排ガス浄化用触媒。

3. 一般式 (2)



- 15 (式中、Aは、La、Nd、Yから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、A'は、Ceおよび／またはPrを示し、Bは、Fe、Mn、Alから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、xは、 $0 \leq x < 0.5$ の数値範囲の原子割合を示し、zは、 $0 < z \leq 0.8$ の数値範囲の原子割合を示す。)
- 20) で表されるペロブスカイト型構造の複合酸化物を含むことを特徴とする、排ガス浄化用触媒。

4. 一般式 (2) において、Bが、FeまたはAlの少なくともいずれかを必ず含み、かつ、Mnを任意的に含んでおり、xが0であることを特徴とする、請求の範囲第3項記載の排ガス浄化用触媒。

- 25 5. さらに、Ptが担持されていることを特徴とする、請求の範囲第1項記載の排ガス浄化用触媒。

6. (追加) 一般式 (1)



(式中、Aは、3価以外に価数変動しない希土類元素を必ず含み、かつ、Ceおよび／またはPrを任意的に含む希土類元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、Bは、Co、Rh、希土類元素以外の遷移元素およびAlから選ばれる少なくとも1種の元素を示す。)

5 で表されるペロブスカイト型構造の複合酸化物を含むことを特徴とする、触媒組成物。